平成３０年５月１８日

各　　位

会 社 名　第 一 建 設 工 業 株 式 会 社
代 表 者 名　取締役社長　　髙木　言芳
（コード ： １７９９　東証ＪＡＳＤＡＱ）
問 合 せ 先　執行役員経理財務部長 小出 昭広
電 話 番 号　０２５－２４１－８１１１

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、２０１８年度を初年度とする「中期経営計画 D-ＶＩＳＩＯＮ ２０２０（2018 年度～2020 年度）」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

建設業界を取り巻く経営環境は、政府の経済政策や企業収益の改善等を背景に、ここ数年間は堅調に推移してきました。しかしながら、建設投資全体としては一時的には増加していますが、減少傾向には変わりがないことや、工事の対象が新設から維持管理へシフトが進むこと、少子高齢化による担い手不足など、多くの課題を抱えています。

本中期経営計画は、鉄道工事を基盤とした総合建設業を営む者として、安全・安心を最優先に考え、地域の皆様の発展や生活の質の向上に寄与することで、全てのステークホルダーの皆様から高い信頼と評価を得ることによって、当社が永続的に発展し続けることを目標として策定したものです。そのため、本計画は、少し先の未来である「将来に向けてのありたい姿」を設定し、この「ありたい姿」に到達するまでの途中経過である、２０２０年の「あるべき姿」を設定し、現在とのギャップを埋めることを想定し策定したものとなっています。

全てのステークホルダーの皆様から高い信頼と評価を得ることができるよう全役員社員が一丸となって目標達成に向けて取り組んでまいります。

○中期経営目標（2020 年度の経営目標）

①安全目標	「命に関わる事故の撲滅」
②ワークスタイル変革目標	「現場での４週８休の実現」
③売上高・利益目標	「売上高　５２０億円　営業利益　６０億円」
④株主還元目標	「総還元性向　２５％以上」

詳細につきましては、添付資料をご覧ください。

以　上

D-VISION2020

中期経営計画
2018年度～2020年度

～変革への挑戦　夢ある未来に向けて～

第一建設工業株式会社

２０１８年5月１８日

1.はじめに

建設業界を取り巻く経営環境は、政府の経済政策や企業収益の改善等を背景に、ここ数年間は堅調に推移してきました。しかしながら、建設投資全体としては一時的には増加していますが、減少傾向には変わりがないことや、工事の対象が新設から維持管理へシフトが進むこと、少子高齢化による担い手不足など、多くの課題を抱えています。

当社は、鉄道工事を基盤とした総合建設業を営む者として、安全・安心を最優先に考え、地域の皆様の発展や生活の質の向上に寄与することで、全てのステークホルダーの皆様から高い信頼と評価を得ることによって、当社が永続的に発展し続けることを目標として本中期経営計画を策定しました。

そのため、本計画は、少し先の未来である「将来に向けてのありたい姿」を設定し、この「ありたい姿」に到達するまでの途中経過である、2020年の「あるべき姿」を設定し、現在とのギャップを埋めることを想定し策定したものとなっております。

自らの手で、夢のある未来を創り上げていくために変革に挑戦してまいります。

2.当社を取り巻く経営環境

（1）建設業界全般

- 新設工事からインフラ老朽化対策へのシフト
- 建設需要の首都圏集中化
- 建設技術者の労働力不足と高齢化
- 公共工事の発注形態の多様化
- 工事現場の週休2日（4週8休）体制への対応

（2）鉄道工事関係

- 安全、安心意識の高まり
- 軌道工事の担い手不足
- 新潟・秋田の駅前開発プロジェクトへの対応
- 新幹線大規模改修への対応
- インド高速鉄道への対応

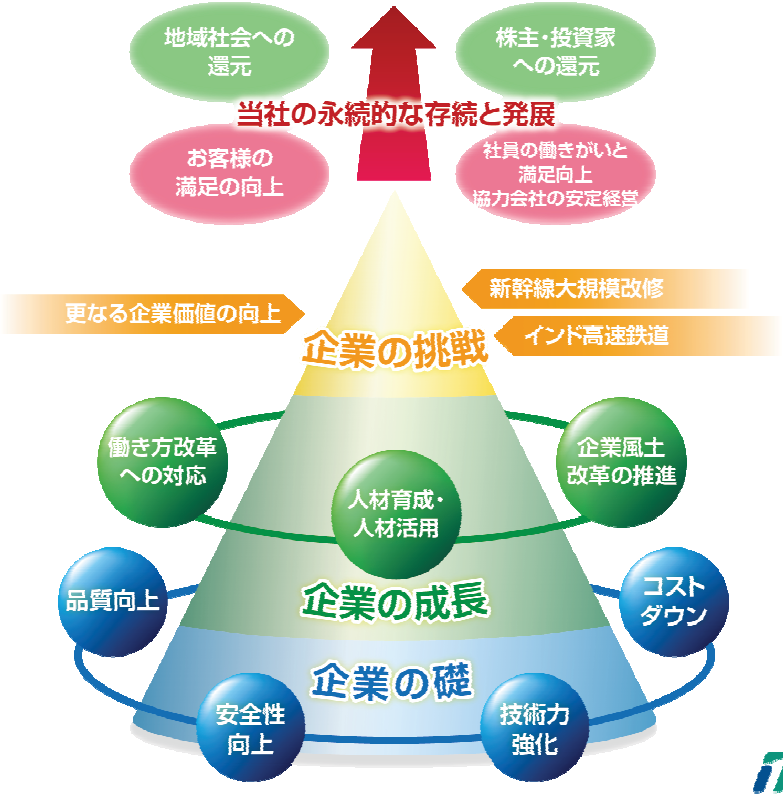
3.当社の課題

- ■工事施工における更なる安全性の向上
- ■品質の確保、技術力の向上、コスト削減による顧客満足の向上
- ■コスト競争力強化による安定的な受注確保
- ■建設工事の担い手確保（社員、協力会社）
- ■労働力減少に対応するための生産性の向上
- ■鉄道メンテナンス業務の機械化、省力化
- ■新幹線大規模改修に対応するための準備
- ■上記課題を解決するための人材育成、風土改革

4.長期的な目標　①「将来に向けてのありたい姿」

お客様に対して	社員一人ひとりが「安全」を最優先事項として考え、「安全」を最優先にした仕事が当たり前のこととして実行できている企業を目指します。 お客様のニーズにあった提案と高い技術力により、全てのお客様から喜ばれ信頼される企業を目指します。
社員に対して	社員が自分の仕事に誇りを持ち、やる気と働きがいのある魅力的な企業を目指します。
株主・投資家様に対して	健全な財務体質の維持と資産効率の向上により、株主・投資家の皆様からの期待に応えられる企業を目指します。
地域社会の皆様に対して	地域に根ざした企業として地域社会の発展に貢献し、地域の皆様から信頼される企業を目指します。

②当社の永続的な存続と発展に向けての考え方



5.中期経営目標　①2020年度までに「あるべき姿」

安全を最優先する企業として	一人ひとりが常に安全を最優先に考え行動することで、命に関わる事故が発生しない企業を創り上げます。
顧客満足を大切にする企業として	お客様のニーズの追求と技術力の向上により、お客様からの信用信頼の獲得を目指します。
社員を大切にする企業として	ワークライフバランスの実現とともに、社員同士が助け合い、働きがいを感じられる企業を目指します。
株主・投資家様からの期待に応えられる企業として	資産の効率化と株主価値の向上を目指します。
地域社会の皆様から信頼される企業として	コンプライアンスや地域社会の発展を重視した経営により、地域の皆様から信頼される企業を目指します。

5.中期経営目標　②2020年度の経営目標

安全目標

「命に関わる事故の撲滅」

ワークスタイル変革目標

「現場での4週8休の実現」

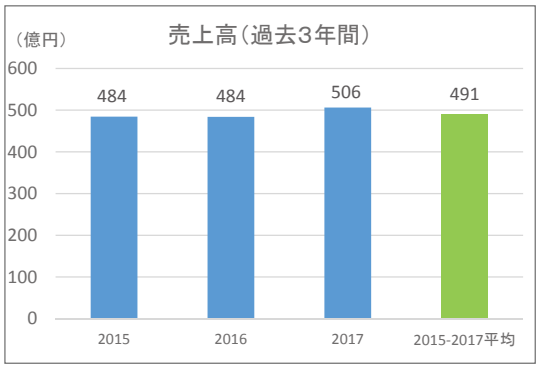
売上高・利益目標

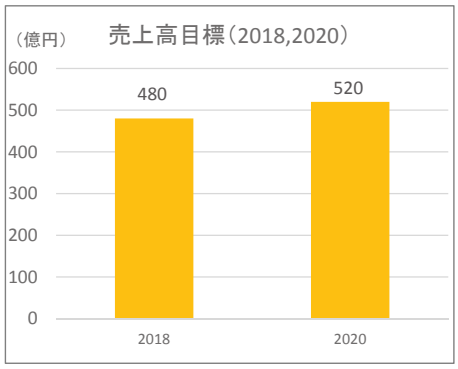
売上高　５２０億円
営業利益　６０億円

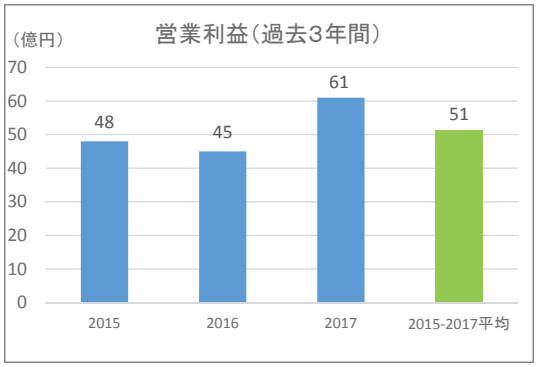
株主還元目標

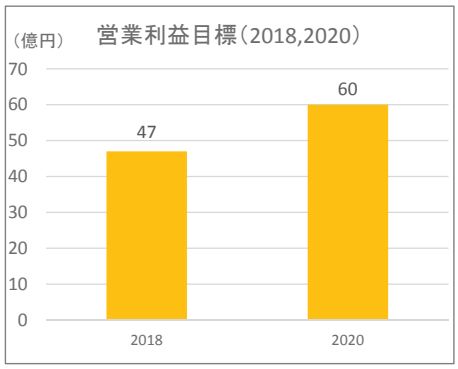
総還元性向　25%以上

（参考）経営成績の推移









6.中期経営計画での重点課題

（1）企業の礎

安全性の向上	・社員が常に安全を最優先し行動するための風土の醸成 ・ICT技術を活用した鉄道工事の安全体制の強化 ・バーチャルリアリティの活用による危険体感設備の整備 ・協力会社の安全レベル向上支援
品質の向上	・鉄道工事のプロとしてのお客様との協力体制の構築 ・当たり前の施工品質を誰もが提供できる体制づくり ・お客様ニーズに合致した成果物の提供 ・アフター・クレームへの誠意ある迅速な対応
技術力の向上	・既存技術の強化と定着のための現場サポート体制の強化 ・社員の創意工夫が提案できる体制強化と水平展開 ・当社独自技術（Ｄ－ｆｌｉｐ工法）の積極的な展開 ・新たな技術の導入や新規開発
コストダウン	・バリューエンジニアリング（VE）、コストダウンなど施工提案力の強化 ・機械化、省力化、新たな技術開発による生産性の向上 ・先進の建設技術や材料等の知識習得と活用促進

（2）企業の成長

人材育成・人材活用	・新研修センター計画など教育施設の整備と強化 ・OJTを含む教育カリキュラムの強化 ・女性社員活躍の推進とシニア社員の雇用制度の見直し
働き方改革への対応	・現場での4週8休に向けた段階的な取り組み ・ワークシェアによる労働時間のフラット化の推進 ・ICTを活用した定例事務業務の自動化、業務集中化による効率化
企業風土改革の推進	・自立心を持ち、「自らの会社は自ら創り上げる」社員の育成 ・コミュニケーションの活性化によるチームワークの強化 ・地域社会との繋がりを大切にする企業運営

（3）企業の挑戦

更なる企業価値の向上	・公共工事、民間工事の受注拡大 ・鉄道メンテナンス業務の機械化、省力化 ・コーポレート・ガバナンスの継続的向上 ・業績向上による株主還元
新幹線大規模改修への対応	・施工体制の確保（技術者育成、社員の増員、協力会社の確保など） ・効率的な施工を可能とする施工技術の開発
インド高速鉄道への対応	・海外への技術支援体制の強化（新幹線建設技術者の育成など）

11

人に夢、街にぬくもり

第一建設工業株式会社

お問合せ先

本社　総合企画本部　経営企画部

TEL：025-241-8112（直通）

E-mail：keiki@daiichi-kensetsu.co.jp

URL：https://www.daiichi-kensetsu.co.jp

ご注意

本資料は、投資勧誘を目的にされたものではありません。本資料内の情報には、当社の現時点における期待、見積および予測に基づく記述が含まれており、正確性を保証するものではありません。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

第一建設工業株式会社